

情報連絡員報告総括表(令和6年4月期)

富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上	在庫	販売	取引	収益	資金	設備	雇用	業界	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
		高	数量	価格	条件	状況	繰り	操業度	人員	景況	
食 料 品	醤油・味噌製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震による観光客の減少により、ホテル・旅館、飲食店などの業務用の売上の減少はあったが、元に戻りつつある。 ・令和5年産の米の作況は天候を要因に芳しくなく、みそ生産に必要な米の価格が高騰しており、国産米の安定調達にむけて、業界をあげて加工用米の生産拡大を要請している。 ・円安や原料大豆の相場の高止まり、包装資材価格、人件費など、コスト高が続いている。 ・令和5年に各社値上げを実施しているものの、更なる値上げに踏み切らなければならない可能性が出てきている。 ・物流の2024年問題についても対処すべき課題が多い。
	パン製造業	↗	→	→	→	↘	↘	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料価格の値上がりが止まらず、価格転嫁をしても追い付かない。 ・人件費の上昇、従業員の高齢化や不足に苦慮している。 ・販売先が減少している。
	豆腐製造業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	→
織 維 工 業	ニット製造業	↘	→	↗	→	↘	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・円安による原材料費の増加や製造コストの増加が懸念される。 ・衣料関係は低調かつ不透明な状況である。
	絹人織織物業	→	↗	→	→	↘	↘	→	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・化合繊維物並びに絹織物ともに受注は低調である。また、円安に伴い諸経費が上昇している。 ・化合繊維物について、新規の商品開発と活路開拓に注力している。 ・絹織物について、円安の影響により原材料費の上昇が激しいため商品の値上げを行いたい、受注数量の減少に繋がるため困難であり、収益の減少を危惧している。
	綿・スフ織物業	→	→	→	→	→	→	↘	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・為替の関係もあり、当面の受注は確保しつつも、夏以降の引き合いは不透明である。
木 材 ・ 木 製 品	一般製材業	↘	→	→	↘	↘	→	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の新設住宅着工戸数は、前年同月比6.0%減、うち木造が多い持家は12.2%減となっている。 ・住宅需要の回復が見込めず、県内のプレカット工場の稼働率が低下していることなどから、木材関係事業者は一段と厳しい経営状況が続いており、取引条件、収益状況が悪化している。 ・ある木材事業者は、ロシア国内での事業継続リスクが大きいことから、ロシアにある会社をロシア企業に売却するなど、木材業界を取り巻く経営環境は厳しい。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・円安により、多くの外国人が訪れ、高額な商品が売れている。

印	刷印 刷業	↘	→	↗	→	↘	→	→	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> 顧客への価格転嫁は概ね進んでいるものの、それ以上に資材の値上がりが度々行われており、追い付いていない。大手と小規模事業者は状況を理解し値上げを受け入れてくれるケースが多いが、中規模事業者の抵抗は強く、未だ厳しい対応が強いられている。他社への移行をちらつかせ、失注の懸念をあおるパターンが常套手段として多く聞かれる。
化学・ゴム	医薬品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> 原料の価格高騰や確保難が続き、生産を終了する品目もある。
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> 4月の県全体の生コンクリート出荷数量は、前年同月比で19.0%の減少となっている。 県内全ての地区の出荷数量が前年同月の出荷数量を下回っている。
	コンクリート製品製造業	↘	→	↗	→	↘	→	↘	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> 公共事業の執行状況を注視している。
	骨材・石工品等製造業	→	↗	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度骨材価格について、前年度価格より1t当たり300円の値上げで得意先との契約に至っている。 骨材需要は、公共、民間とも低調な状況で推移している。 能登半島地震の影響により、能登方面への碎石の運搬を組合員で行っており、今後も災害復旧応援等が続く見込みである。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物業	→	→	→	→	→	→	→	→	↘	・生産量について、一時的に昨年同期比程度となったが、企業間のバラツキが大きくなっている。 ・工作機械及び半導体関連は減少傾向であり、当面は厳しい状況が続くと考えられる。
	銅・同合金鑄物製造業	→	→	→	↘	↘	→	→	→	↘	・地金価格が高騰し、最高値の更新が続いている。
	アルミニウム製品製造業	↘	→	↗	↘	↘	→	→	→	↘	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・鉄工業製造部門は、前年同月に比べて生産実態が好転している。 ・ハローワークに求人を出し続けているものの採用希望者が来ない実態があり、採用動画の作製等、採用活動を強化したところ、新規採用者が18名と成果が見られる。
	めっき加工業	↘	→	→	→	→	→	→	↘	↘	・取引先の生産量減少の影響により、売上は減少傾向である。 ・経費は抑えられており、収益状況はあまり変わっていない。 ・退職者数が入社人数を上回っており、人員は若干不足している。
一般機器	金属工作機械製造業	↘	↗	→	↘	↘	→	↘	→	↘	・受注状況について、前年同月比は79.76%、前月比では各部門減少しており、毎月の安定受注が難しい状況が続いている。 ・売上については、円安ではあるが、主の販売先(国)の景況が悪いため、売上(利益)増加に結びついていない。 ・今年度も厳しい状況が続く見通しである。
	金属加工機械製造業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	・特になし。
	非金属用金型製造業	↘	→	↘	→	↘	→	↘	→	↘	・コロナ禍の初めは、ホーム製品など、ライフスタイルの変更による特需もあったが、感染が落ち着いた今、これといった盛り上がりは見られない。 ・季節による需要の盛り上がりも以前に比べて弱いようである。 ・大ヒットと言える商品が乏しいことも、ものづくり企業の業績低迷の一因かと思われる。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↘	↘	→	→	↘	→	→	→	↘	・前年同月と比較して、全体的に需要は低調である。 ・一方で新製品開発の動きが活発化してきており、引き合い件数は増加傾向である。 ・来年度の新入社員採用に苦戦している。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・昨年度より販売売上が増加した決算額になっているが、販売単価の値上げにより増加したものである。 ・インボイス制度の影響による今後の情勢に不安を感じている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業	↑	→	↑	→	↑	→		→	→	・燃料や原材料価格の高騰、業界の人出不足など様々な要因で建設意欲が失われていたが、値上げへの抵抗感が薄らぎ価格転嫁が進んでいることで、各種建設受注量が最低から上昇に転じ始め、袋セメントの出荷増に繋がっている。但し、回復したと言えるところまでは至っていない。
	非鉄金属製品卸売業	↓	↓	↑	↓	↓	↓		→	↓	・先月と同じく、製造工程のトラブル(火災やケガなど)による欠損状況に変わりはなく、各製造工程によって従事者が限られていることから、製造に支障が出ている。 ・円安の影響で、海外観光客の多い京都などからの受注が増えている。
小売業	鮮魚小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、横ばい傾向である。
	食肉小売業	→	→	↑	→	↓	↓		→	→	・小売に関しては価格転嫁が徐々に進んでいるが、業務用卸に関しては未だ取り組めていない店舗もあり、収益性は改善されていない。
	野菜・果実小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・富山卸売市場全体の売上高は、数量減(91%)の単価高(109%)で、前年同月比99%となっている。 ・青果組合全体の売上高は、前年同月比102%となっている。
	家庭用電気機器小売業	↓	↓	→	→	→	→		→	→	・特になし。
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・特になし。
	ガソリンステーション	↓	→	↑	↓	↓	↓		↓	↓	・カーボンニュートラルの進展に伴うガソリン等の需要減に加えて、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制などSSの経営環境は厳しさを増している。 ・物価高による個人消費の抑制から需要の回復感は弱く、ガソリン販売量はやや減少傾向が継続する見込みである。 ・販売価格については、レギュラーガソリン、ハイオクガソリン、軽油それぞれ前年同月と比較すると約8円高い状況となっている。
	農機具小売業	↓	↓	↑	↓	↓	↓		↓	↓	・資材等の価格高騰が続いていることや、令和5年産の米の品質低下で農業者の収入が減少したことによる機械購入意欲の低下が響いて、業界はとてつもない厳しい状況である。
	スポーツ用品小売業	→	↓	↑	↓	↓	↓		→	↓	・経済的に厳しい状況であったり後継者不足などの理由で、組合員が減少している。 ・原材料の高騰により、スポーツブランドメーカーの生産拠点がみつからず、商品供給ができないでいる。作れない、商品がないので売れないの悪循環である。
	ショッピングセンター	↑	→	↑	↓	→	→		→	→	・物価高により、消費者の節約志向が強まっている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	商店街	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・お花見シーズン時は、人通りが多く賑わっていたが、消費に結びついているかは疑問である。 ・百貨店のイベント効果もあり、ゴールデンウィーク中の商店街は老若男女がそぞろ歩いて活気がみられた。 ・観光ツアーの外国人などが飲食店に列を作る賑わいを見せている。
	商店街	↘	↗	↗	→	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・物販の売上は、前年同月比で5%～7%落ち込んでいる。飲食については横ばいだが、土日祝日は少し落ち込んでいる。
サービス業	クリーニング業	↗		↗	↗	↗	→		→	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	飲食業	↗		↗	→	↗	→		→	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・売上について前年同月比で4%増加している。 ・ゴールデンウィークを前に、支出を抑え気味である。
	建築設計業	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	自動車整備業	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の自動車新車新規登録・届出台数は、大手車メーカーの不正による出荷停止により、前年同月比で4ヵ月連続で減少しているが、3月中旬より全ての車種の生産を再開しており、マイナス幅は前月から大幅に縮小され、今後は上向くことが期待される。 ・受注残の解消後は、ウクライナ情勢、為替市場、物価高騰などの状況によっては、自動車の車両価格が更に値上がりすることとなり、自動車購買意欲が薄れ、新車販売台数の減少となることが予想される。 ・自動車整備事業者においては、自動車部品、油脂類、機械工具類等全てのものが価格上昇しており、自社努力では対応しきれず苦慮している。 ・また、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題も抱えている。こうした課題に対応できない事業者は、自社の取扱い車種が加速度的に減少している。
建設業	鉄骨・鉄筋工事	↘		→	→	↘	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・大手鉄骨加工業者は、受注残を抱えているものの、図面承認の遅れや工期のズレなどで工場稼働率が上下し、採算を圧迫している。 ・中小鉄骨加工業者は、建設コストの急騰による発注の手控えや計画の中止、規模の縮小により、仕事量は減っている。 ・安値受注しているゼネコンの鉄骨加工業者に対する指値は厳しいが、鋼材に限らず全ての物が価格上昇しており、今は安値受注を避け我慢する時期である。
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	管工事業	→		→	→	→	→		↘	→	<ul style="list-style-type: none"> ・景況に変化はない。 ・能登半島地震による水道断水解消復旧作業が石川県七尾市で3月末まで行われ、4月からは、能登町で応援活動を継続している。 ・4月より、各水道資材メーカーが値上げを行っている。
	電気工事業	↘		→	→	→	→		→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・公共工事は前年並みだが、民間工事の動きは鈍く、特に住宅着工が大きく減少している。 ・電線を含む電設資材の供給については、徐々に改善しつつある。
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・4月からの働き方改革関連法による大きな混乱は今のところないものの、各荷主との運賃や高速道路利用料の負担交渉において、要望通りの結果が出ておらず、この先の収益状況が懸念される。
	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料価格について、前年同月比+5.2円/ℓだが、前月比+1.0円/ℓと厳しい状況である。 ・物量は、前年同月比99.0%と前年並みである。 ・働き方改革関連法の影響により、働く時間を短縮するために高速道路を利用する回数が増えたため、貸切運賃について、4月に入り運賃と高速料金分が上昇している。安い貸切運賃の荷物は、引き受けてくれる車が見つからない状況である。